

Imagine.

 Roland®



SOLJET PRO4
XR-640



DG Value News

第32期中間のご報告 2012年4月1日～2012年9月30日

ローランド ディー.ジー.株式会社

証券コード 6789

Vision
ビジョン

イメージをカタチに

私たちローランド ディー.ジー.は「イメージをカタチにする」ソリューションを世界中の人々に提供し、新たな創造の世界を切り拓いていくことを目指しています。

私たちは、Imagine.(想像)こそがすべての分野における創造の原点であると考え、お客様が描いているImagine.の世界を大切に、お客様とともに「想像を超える創造」を実現していきます。

▶世界133の国と地域で

連結販売子会社や販売代理店などのパートナー企業計25社を通じて、世界133の国と地域のお客様に製品やサービスを提供しています。

● 連結販売子会社 ● パートナー企業



▶独創的な事業展開

当社では、カラー事業と3D事業の2分野を中心に、デジタル技術でものづくりを効率化するソリューションを提案しています。

カラー事業



屋内外の大型看板やポスターなどを製作するサイン業界に向けた業務用大型プリンターを展開しています。

3D事業



刃物を使って形状を削り出す3次元切削加工機やデジタル彫刻機、3Dレーザースキャナーなどで、ものづくりのデジタル化・効率化を提案しています。

デジタル印刷



3D



医療



パーソナル





代表取締役会長

五ヶ倉 乙

代表取締役社長

富岡昌弘

企業スローガン

創造の喜びを世界にひろめよう
BIGGESTよりBESTになろう
共感を呼ぶ企業にしよう

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第32期上期(2012年4月1日～2012年9月30日)が終了いたしましたので、事業の概要および連結の決算のご報告を申し上げます。

2012年12月

● 第32期上期 (2012年4月1日～2012年9月30日) 連結業績

新製品と原価低減が業績へ貢献

当上期は、欧州では債務問題の深刻化による景気低迷が鮮明となり、中国を中心とするアジアでは景気拡大に減速感がみられました。さらに、為替相場は大幅な円高で推移するなど、総じて厳しい状況が続きました。このような中、付加価値の高い新製品により市場の活性化を図るとともに、新市場の開拓や顧客層を広げる活動に取り組んだ結果、売上高は前年同期並みを確保いたしました。利益面では、原価低減の効果などにより原価率が改善し、営業利益、経常利益ともに増益となりました。一方、四半期純利益は、子会社ののれんの減損などが影響し前年同期を下回りました。

また当期より、経営環境の変化に柔軟かつスピーディーに対応し、グループ一体となり総合力を発揮することを目指す構造改革「GlobalOne(グローバルワン)」(P9-10参照)をスタートさせ、中長期的な成長の実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

■ 第32期上期 連結業績

売上高	155億99百万円	前年同期比	0.1%増
営業利益	6億33百万円	前年同期比	24.3%増
経常利益	6億27百万円	前年同期比	15.5%増
四半期純利益	74百万円	前年同期比	62.4%減

● カラー事業

先進国と新興国、それぞれにあったソリューションを提案

主力市場である先進国サイン市場では、業務用プリンターの普及や経済環境の悪化により市場の成長が鈍化しています。当社では、メタリックプリンターによる金色や銀色などの新しい表現の提案に加え、従来はスクリーン印刷で行っていたパネル素材などのサイン製作にUVプリンターでの効率化を提案することで、厳しい経済環境下でも市場の成長を促す取り組みを行っています。そして今年9月には、サイン製作のプロが求める最新機能を搭載したプロ用機種を発売し(P12参照)、高付加価値なサイン製作のニーズに応えます。このように先進国市場では、新しい表現や高付加価値印刷、効率化につながる印刷方法など、お客様それぞれのビジネスに合った製品を提供できる充実したラインアップにより、顧客視点での提案力を高めています。

一方、新興国市場の中でも高い成長が見込まれる中国では、現地メーカーとの競争が激しくなっています。当上期には、現地ニーズに基づく専用設計で圧倒的な高画質を実現した水性プリンターの新製品を投入し、市場における存在感を高めました。

また、さまざまな印刷分野を対象として新市場開拓を進めるUVプリンターでは、スマートフォンケースのカスタマイズ用途などオリジナルグッズ製作業界への浸透が進み、複数台の導入事例が増えています。オリジナルグッズやギフト業界は、3D事業で展開するデジタル彫刻機

などですでに販売網があり、さまざまな素材へ印刷できるUVプリンターの特長を活かせる市場として注力していきます。

当社では、地域や用途などそれぞれの市場ニーズを捉えた製品展開や提案力を高めていくことで、カラー事業のさらなる成長を目指してまいります。



VersaUV
LEF-12



印刷が施されたスマートフォンケース

● 3D事業

デンタル業界でデジタル加工の教育、啓蒙活動を推進

デジタルデータを活用したものづくりが広がる製造業や彫刻業を中心に、「コンパクト・簡単操作・導入しやすい価格」がコンセプトの3次元切削加工機やデジタル彫刻機を展開しています。近年、医療分野でもデジタルデータの活用が進んでいますが、当社では、なかでもデンタル(歯科医療)分野に注力しています。デンタル業界では、歯の治療に使われる義歯素材に新素材の「ジルコニア[®]」が登場し、その成形方法は、患者の歯型をデジタルデータに変換してそのデータをもとに塊から削り出すことが唯一の方法です。当社では、これまで蓄えた「デジタル加

工機”のノウハウを盛り込んだデンタル専用の切削加工機を発売し、義歯成形を行う歯科技工所への提案を進めています。歯科技工所への普及には、加工機の知識だけでなくデジタルデータを使って義歯を作り出すデジタル工程を知っていただくことが重要です。イタリアやアメリカの販売子会社では、デジタル工程の教育や技術サポートなどのトータルソリューションを確立したことで販売が増加しています。今後は、日本国内でも本格的な販売を始めるとともに、ニーズの高いドイツや中国でトータルソリューションの横展開を進め、デンタル業界での地位を高めてまいります。

デジタルデータを活用してものづくりの価値を高める大きな流れは、さまざまな業界・分野でますます広がることが予想されます。当社では、デジタル化の流れを確実に捉えて3D事業の拡大を図ってまいります。



デンタル教育用のラボ(イタリア)



ラボでの教育活動の様子(イタリア)

DWX-50
5 AXIS / AUTO TOOL CHANGER



ジルコニア

金属よりも高い強度を持ち、見た目も自然な歯の色に近い、セラミックの新素材。金属アレルギーの心配もなく、金歯や銀歯に代わる義歯用の素材として近年注目されています。



第32期通期 連結業績予想

新製品を中心に業績向上に努めます

世界の経済環境は、欧州債務問題の深刻化や新興国の経済の減速、円高など景気の先行きがいっそう不透明となっています。このような中、当社では9月に発売を開始したプロ向けプリンターの新製品や新興国市場の販売強化、デンタル市場やパーソナル(個人)市場などの新市場開拓により、業績向上に努めてまいります。これにより通期の連結業績は、売上高、営業利益、経常利益ともに前期を上回る見通しですが、当期純利益はのれんの減損などにより減益となる見込みです。

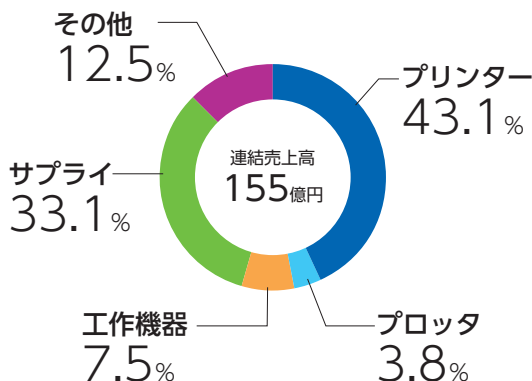
第32期通期 連結業績予想

売上高	319億00百万円	前期比	1.7%増
営業利益	15億60百万円	前期比	7.6%増
経常利益	14億80百万円	前期比	11.7%増
当期純利益	4億70百万円	前期比	31.6%減



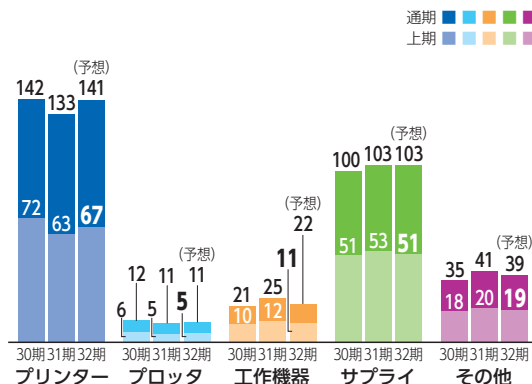
品目別

● 売上高構成比 (第32期上期)



● 売上高推移

(単位：億円)



(注) 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

プリンター

67億27百万円 (前年同期比 5.1%増)

主力のVSシリーズをはじめとする低溶剤インクモデルが堅調な販売だったことに加え、前期に投入した新製品のUVプリンターを中心に好調となり前年同期を上回りました。

プロッタ

5億96百万円 (前年同期比 1.3%増)

主力機種の販売が堅調に推移し、前年同期をわずかに上回りました。

工作機器

11億62百万円 (前年同期比 5.8%減)

教育現場や工業用途で使用される切削加工機、デジタル彫刻機が堅調に推移しました。しかし、デジタル加工機は前期の製品立ち上げ時に初期出荷が集中した反動で前年同期を下回りました。

サプライ

51億64百万円 (前年同期比 2.9%減)

震災後に落ち込んだ内需の持ち直しがあった日本や、オリンピック需要のあったイギリスでは増加したものの、景気低迷が顕著な南欧地域で減少したことなどから前年同期を下回りました。

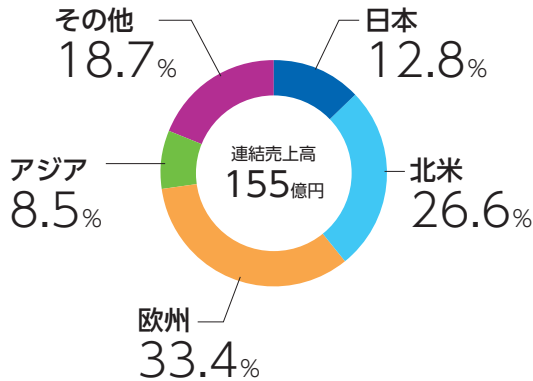
その他

19億48百万円 (前年同期比 4.4%減)

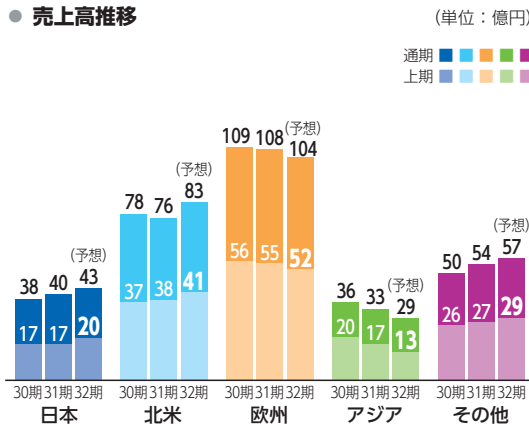
海外向けを中心にサービスパーツの出荷が減少したことにより前年同期を下回りました。

地域別

● 売上高構成比 (第32期上期)



● 売上高推移



(注) 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

日本

20億00百万円 (前年同期比 11.5%増)

新製品LEF-12をはじめとするUVプリンターを活用したオリジナルグッズ製作業界の開拓が進みました。また、顧客への直接アプローチ活動が奏功し前年同期を上回りました。

北米

41億38百万円 (前年同期比 8.5%増)

大型のUVプリンターLEJ-640がサイン市場に浸透しました。3D分野では、デジタルデータを活用した義歯成形用のデンタル加工機が順調に売上を伸ばし、前年同期を上回りました。

欧州

52億11百万円 (前年同期比 6.1%減)

イギリスやロシアでの販売力強化の取り組みが成果を上げたほか、新製品効果により現地通貨ベースでは増収となりました。しかし、南欧地域の景気悪化や円高により連結では前年同期を下回りました。

アジア

13億28百万円 (前年同期比 22.2%減)

中国では景気拡大の鈍化や現地メーカーとの競争激化で販売が伸び悩んだほか、韓国では販売体制見直しを進めている影響で前年同期を下回りました。

その他

29億19百万円 (前年同期比 7.7%増)

ブラジルでは4年に一度行われる統一地方選挙の需要があり、ポスターなどの印刷用途でプリンターの販売が増加いたしました。

POINT

四半期連結貸借対照表

流動資産では、受取手形及び売掛金が1億円減少、たな卸資産が6億円減少しました。また、未収入金の減少により、その他流動資産が5億円減少しました。

固定資産では、タイ工場の建設進捗などに伴い有形固定資産が4億円増加、子会社株式の追加取得などによりのれんが4億円増加しました。一方、タイ子会社を連結の範囲に含めたことなどにより投資有価証券が4億円減少しました。

流動負債では、支払手形及び買掛金が4億円減少した一方で、当社を中心に未払法人税等が1億円増加しました。

● 四半期連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科 目	31期末	32期第2四半期末
〔資産の部〕		
流動資産	20,037	18,698
固定資産	9,297	9,715
有形固定資産	6,375	6,805
無形固定資産	1,368	1,794
投資その他の資産	1,553	1,115
資産合計	29,335	28,413
〔負債の部〕		
流動負債	3,843	3,534
固定負債	711	807
負債合計	4,555	4,342
〔純資産の部〕		
株主資本	27,011	26,818
その他の包括利益累計額	△ 3,019	△ 3,032
少数株主持分	788	285
純資産合計	24,780	24,071
負債純資産合計	29,335	28,413

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

さらに詳しい情報につきましては、下記のIRサイトをご覧ください。

<http://www.rolanddg.co.jp/ir/>

ローランド ディー.ジー. IR

検索

四半期連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	31期第2四半期 累計期間	32期第2四半期 累計期間
売上高	15,577	15,599
売上原価	9,853	9,814
売上総利益	5,724	5,785
販売費及び一般管理費	5,214	5,151
営業利益	509	633
営業外収益	127	79
営業外費用	94	86
経常利益	542	627
特別利益	5	9
特別損失	6	111
税金等調整前四半期純利益	541	525
法人税等	305	415
少数株主損益調整前四半期純利益	235	109
少数株主利益	38	35
四半期純利益	197	74

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	31期第2四半期 累計期間	32期第2四半期 累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	812	1,836
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 465	△ 1,717
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 382	△ 252
現金及び現金同等物に係る換算差額	123	△ 5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	87	△ 138
現金及び現金同等物の期首残高	8,785	6,727
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	84	459
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,956	7,048

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは18億円の収入となり、前年同期と比べ10億円の増加となりました。増加要因は、当第2四半期において未収入金の減少などによりその他流動資産が減少したこと、前年同期に大幅に減少した仕入債務が当第2四半期では減少幅が小さくなったこと、当社を中心に法人税等の支払額が減少したことなどによります。減少要因は、前年同期に大幅に減少した売上債権やたな卸資産が、当第2四半期は減少幅が小さくなったことなどによります。

POINT 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは17億円の支出となり、前年同期と比べ12億円の支出額の増加となりました。前年同期は、定期預金の払戻しによる収入がありましたが、一方で定期預金の預入れ、金型や基幹管理システム強化などの有形固定資産の取得及び子会社株式の取得が主な支出となりました。当第2四半期は、定期預金の払戻しによる収入がありましたが、一方で関係会社株式の追加取得やタイ子会社の工場建設に伴う有形固定資産の取得が主な支出となりました。

POINT 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは2億円の支出となり、前年同期と比べ1億円の支出額の減少となりました。前年同期、当第2四半期とも配当金の支払が主な支出となりました。

GlobalOne

当社では、第32期(2013年3月期)より構造改革「GlobalOne(グローバルワン)」に着手しております。複雑化する市場や経営環境の変化に、グループ一体で迅速かつ柔軟に対応するためのグループ構造の改革が「GlobalOne」です。今回は、当社が行っている構造改革の内容をご紹介します。

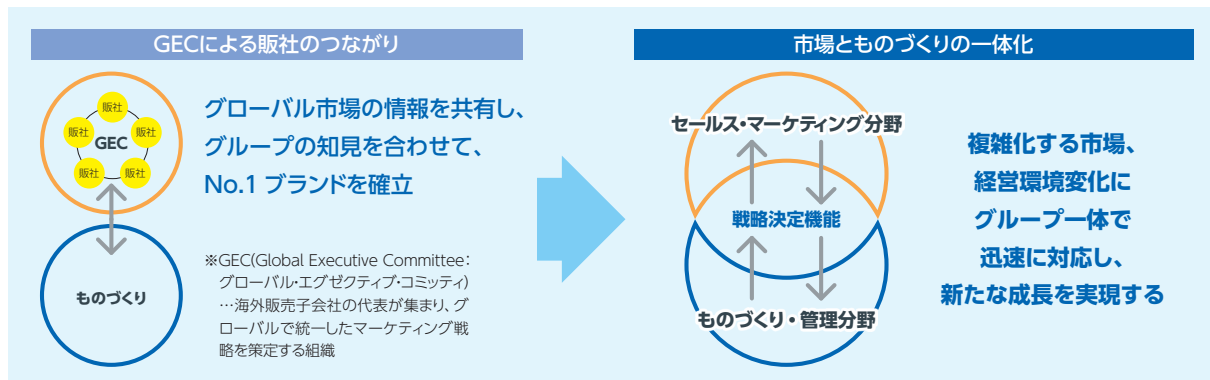
● 「GlobalOne」の考え方

これまでの10年は、急速にデジタル化が進んだ10年であり、デジタル技術をコア技術とする当社はこの流れを捉えて成長してまいりました。これまでは、海外の販売子会社がセールス・マーケティングを、日本がものづくり(開発・生産)を担当し、日本の開発した製品を各販売子会社は現地に最適な方法で提案し各地域でNo.1ブランドを確立してまいりました。しかし、リーマン・ショック後の現在では、先進国経済の変調や市場の成熟化、記録的な円高などにより、当社の成長も鈍化しています。一方で、グローバル化やITの発展により、世界同時に情報が行き

渡り、市場の動きも速く激しくなりました。さらに、デジタル化が進んだ世の中はデジタル技術の応用の段階に入り、様々な市場でデジタル化のニーズが生まれています。

このような中、当社では持続的成長を実現すべく、グループ一体となって総合力を活かすための構造改革「GlobalOne」に着手いたしました。これまでセールス・マーケティングとものづくりそれぞれが独立していた構造が、新たなグループ構造では、市場とものづくりの距離をなくし直結する構造にします。セールス・マーケティングの市場側では、世界を大きく3つの地域ブロックに括り、

● 「GlobalOne」の背景



CLOSE UP! **タイ工場** Roland Digital Group (Thailand) Ltd.

第31期(2012年3月期)に、当社初の海外生産拠点としてタイに工場を設立いたしました。このタイ工場は成長の著しい新興国市場を取り込むべく、競争力強化に向けた生産拠点です。現地調達や現地生産により、コスト競争力の強化を図ります。2012年9月には工場竣工式が行われ、同時に生産設備の導入が完了し、試験生産を開始しました。翌10月からは、当初の予定通り量産稼働を開始しております。



生産開始式典会場の様子



工場外観

地域ごとのマネジメント体制を取り入れます。地域全体に最適な経営資源を再配分して、きめ細やかなサービスの提供、新市場や未開拓地域の開拓を進めます。ものづくり側では、市場ニーズを素早く取り入れ現地、現場で開発する市場一体型のものづくり体制を構築し、市場の求める価値をスピーディーかつフレキシブルに実現する技術力を高めます。生産面では、国内工場での生産効率化に継続して取り組み、先端のものづくり工場を目指すとともに、本格稼働を開始したタイ工場も含め、製品原価を低減し、コスト競争力を強化します。また、セールス・

マーケティングとものづくりが重なりあう部分には戦略決定の機能を設置し、全体の情報を集約し、経営戦略を立案して進捗を管理します。

この構造改革「GlobalOne」によって、新しい時代のグローバル市場に対応できる体制をつくり、今後の持続的成長を目指してまいります。

● グローバル営業力

地域ブロックのマネジメント体制

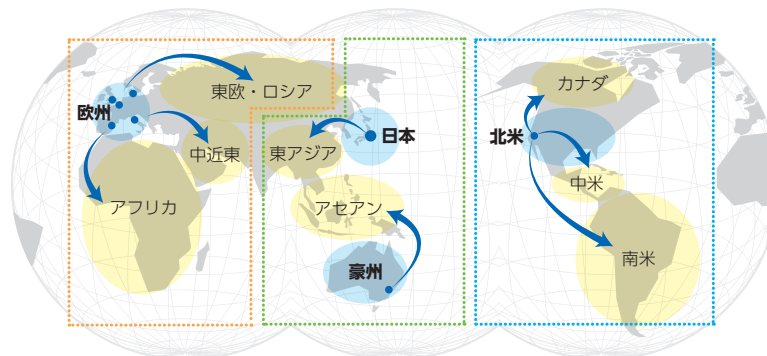
欧州ブロック

アジアパシフィックブロック

米州ブロック

● グループ販売子会社

グループ販売子会社のノウハウを各地域内へくまなく横展開し、販売力強化を図る



4月

「ローランド ディー.ジー. クリエイティブ・アワード」グローバル・グランプリ大会開催

4月17日に静岡県浜松市において「ローランド ディー.ジー. クリエイティブ・アワード」のグローバル・グランプリ大会を開催しました。このイベントは、当社創立30周年を記念し企画された、全世界のユーザー様を対象とした作品コンテストです。当社製品を使って生み出された世界中の優れた作品事例を集めご紹介することで、お客様の新しいビジネスの発展に寄与したいという思いで実施いたしました。昨年9月より123の国や地域から作品の募集を開始し、今年の2月までに合計1,193点ものエントリー作品が集まりました。

グローバル・グランプリ大会には、各地域で選出されたローカル・グランプリ作品全16点が一堂に集結し、その中から、当社3D加工機MDX-540で製作された中国のユーザー様からのエントリー作品「トンネル掘削機の試作品」が見事グローバル・グランプリを獲得しました。

当日は、招待ユーザー様32名を含む総勢78名が参加。言葉も文化も異なるユーザー様同士が、お互いの作品の素晴らしさについて讃え合うとともに、製品の活用ノウハウや新しいビジネスのアイデアなどについて熱心に意見交換されている姿がたいへん印象的でした。これからも世界中のお客様をつないでいく活動を推進してまいります。



魯迅美術学院(中国)の
Du Haibin氏とJiao Hongwei氏
によるグローバル・グランプリ作品

2012年

4月

5月

6月

7月

8月

6月

第31期 定時株主総会開催

6月20日、静岡県浜松市のオークラアクトシティホテル浜松において第31期定時株主総会を開催し、189名の株主様にお越しいただきました。社長の富岡より各事業の状況をご報告するとともに、構造改革「GlobalOne」についてご説明させていただきました。また、会場に併設した懇親会場では、当社製品や出力物を展示したほか、抽選でお選びした株主様に個人向けのクラフトマシン iModela を使った製作の体験をしていただきました。参加された株主様からは「思っていたより簡単にできた」、「iModelaがあれば、自分だけのオリジナルグッズがどんどん作れそうですね」などのお声をいただきました。今後も株主様にご満足いただける株主総会の運営に努めてまいります。



株主総会の様子

9月

サイン & ディスプレイショウ2012で

9月13日～15日に東京ビッグサイトで開催された国内最大規模の広告関連資機材の展示会「サイン & ディスプレイショウ2012」に出展しました。

今年は「Like! (いいね!) Roland」をテーマに、当社主要カラー製品を豊富なビジネス提案サンプルとともに展示し、連日多くの来場者で賑わいました。特に、会期前日に発表した大型インクジェットプリンターの新製品XR-640は、その優れた色再現性と表現力がサイン製作のプロの方々から高い評価をいただきました。また、UVプリンターを活用した新規ビジネス提案コーナーは、来場者からの関心が高く、真剣な表情でスタッフの説明に聞き入る方々が数多くいらっしゃいました。これからもお客様のビジネスに貢献できる情報を発信してまいります。



世界各国のユーザー様が集まったグローバル・グランプリ大会の様子

9月

新製品 XR-640 デビュー



新製品XR-640をはじめ、主要カラー製品を一堂に展示

新製品情報

新生 VersaArt シリーズ RE-640 / RA-640

4月23日発売



VersaArt
RE-640



VersaArt
RA-640

新型プリントヘッドの採用による美しく繊細な表現と、導入しやすい低価格を両立した64インチ(1,600mm)幅対応の大型インクジェットプリンターです。低溶剤インク対応モデル[RE-640]を全世界に向けて発売するとともに、水性インクでの出力が主流の中国や韓国市場に向けた水性インク対応モデル[RA-640]を同時リリースしました。初期投資を抑えたいユーザー様やエントリー層のニーズを満たすこの低価格モデルの投入により、新規・買い替え需要を喚起していきます。

待望の64インチ プリント&カット機の フラッグシップモデル XR-640

9月27日発売



SOLJET PRO4 XR-640

プリント&カット機能を搭載した印刷幅64インチ(1,600mm)対応の大型インクジェットプリンターです。新型プリントヘッドと新開発の低溶剤インクECO-SOL MAX2を搭載し、圧倒的な高画質プリントを実現しました。また、新たに採用したライトブラックインクは、モノクロ調写真の色再現性やグラデーションの階調表現を格段に向上させています。さらに、プリント&カット機能やホワイต์およびメタリックインクによる付加価値の高い表現力も大きな特長です。XR-640は、収益性の高いビジネスの実現をサポートします。

サイン&
ディスプレイショウ
2012
出展製品

■ 株主様向け工場見学会を開催しました

2012年8月から10月にかけて、毎月20名前後の株主様にご参加いただき、工場見学会を開催いたしました。

当日は、材料の入荷～組立材料の準備～生産工程～検査～出荷まで、ものづくりの一連の流れを見学いただきながら、製品ごとに最適化された生産方式を導入した新たなものづくりへの取り組みについて説明を行いました。当社大型インクジェットプリンターを利用した出荷梱包用ラベルの印刷工程では、普段目に触れることの少ない当社製品の動きに、多くの株主の皆様が興味を持たれたご様子でした。

また、工場見学後は、本社にある歴代製品の展示スペースや豊富な活用事例サンプルをご覧いただきながら、市場ニーズと技術革新の変化に対応した製品開発と顧客価値の創造にチャレンジし続けてきた当社のこれまでの軌跡をご紹介します。

株主の皆様からいただいたアンケートでは「工場見学会を定期的に開催して欲しい」「製品の体験会を実施したらどうか」などのご要望をいただきました。これらの貴重なご意見をもとに、今後とも株主の皆様とのより深い対話・交流に努めてまいります。



DG Value News アンケート集計結果

期 間：2012年6月21日から2012年9月30日

回答数：1,784名(2012年3月31日現在の株主数12,889名)

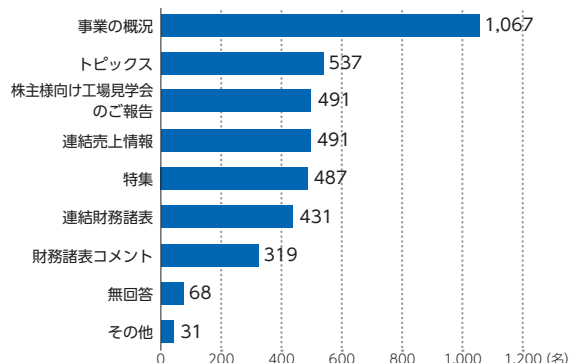
当社が提供する新しい価値を株主の皆様へわかりやすくお伝えできるよう、アンケート内容を参考にさせていただくとともに、株主の皆様からいただいた貴重なご意見・ご要望は今後の経営に活かしていきたいと考えております。

下記に株主様からいただいたアンケート集計結果の一部をご紹介します。

Q 本誌をお読みになり、興味を持たれた項目をお聞かせください(複数回答可)

冒頭の「事業の概況」を中心に幅広い項目にご興味をいただきました。「特集」でご紹介したiModelによるパーソナル市場の開拓に向けた取り組みには、さらなる展開を期待されている声をいただきました。一方で、経済環境が悪化している欧州や、成長が著しい新興国など、変化が激しい経済環境に対する当社の取り組みを知りたいという意見がございました。これを受け今号では、今期より着手している構造改革「GlobalOne」をご紹介します。変化が激しい市場での当社の今後の戦略をご理解いただければ幸いです。

今後も皆様からのご意見・ご感想をもとに、当社の取り組みをご理解いただける誌面づくりに努めてまいります。



会社概要

商号	ローランド ディー.ジー.株式会社
設立	1981年5月1日
資本金	3,668,700,000円
主な事業内容	コンピュータ周辺機器の製造販売
従業員数	907人(連結)

役員一覧

取締役会長 ^{*1}	五十嵐 正	
取締役社長 ^{*1}	富岡 昌弘	
専務取締役	鈴木 涉	
専務取締役	ロバート・カーチス	
取締役	伊藤 純	
取締役	堀田 修史	
取締役	吉澤 肇	
社外取締役	広瀬 卓生	
監査役	佐藤 仁郎	^{*1} 代表取締役です。
監査役	中川 正則	^{*2} 社外監査役 木下雅裕氏および遠藤克博氏は、(株)東京証券取引所が定める独立役員です。
社外監査役 ^{*2}	木下 雅裕	
社外監査役 ^{*2}	遠藤 克博	

特別顧問 梯 郁太郎

会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

事業所

本社	浜松市北区新都田一丁目6番4号
都田事業所	浜松市北区新都田一丁目1番3号
営業所	札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡

海外グループ会社

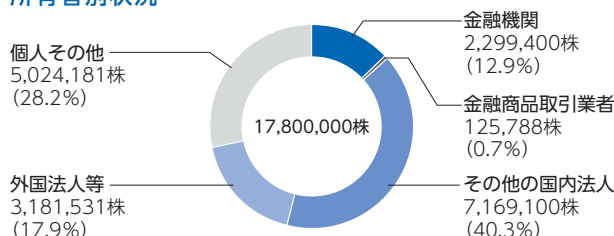
Roland DGA Corporation (アメリカ)
Roland DG Benelux N.V. (ベルギー)
Roland DG (U.K.) Ltd. (イギリス)
Roland Digital Group Iberia, S.L. (スペイン)
Roland DG Mid Europe S.r.l. (イタリア)
Roland DG North Europe A/S (デンマーク)
Roland DG Australia Pty. Ltd. (オーストラリア)
Roland DG Deutschland GmbH (ドイツ)
Roland Digital Group (Thailand) Ltd. (タイ)
Roland DG EMEA, S.L. (ヨーロッパ)

株式の状況

発行可能株式総数	71,200,000株
発行済株式の総数	17,800,000株
株主数	11,457人

株主名	持株数	出資比率
ローランド株式会社	7,120,000株	40.00%
TAIYO FUND, L.P.	1,530,700株	8.60%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	688,900株	3.87%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	657,300株	3.69%
ローランド ディー.ジー.社員持株会	450,900株	2.53%
富岡 昌弘	306,600株	1.72%
モルガンスタンレーアンドカンパニーエルエルシー	221,248株	1.24%
TAIYO BLUE PARTNERS, L.P.	213,500株	1.20%
ビーエヌワイエムエル ノントリーティー アカウント	212,100株	1.19%
ビーピーエイチ デリタイルー プライズド ストック ファンド (プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	210,000株	1.18%

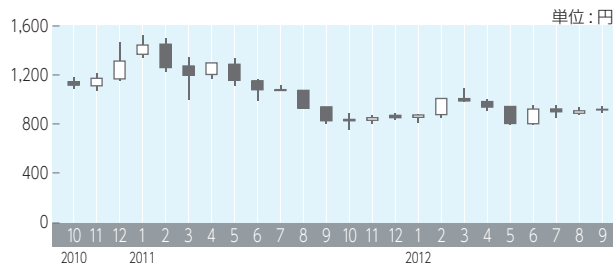
所有者別状況



^{*}自己名義株式460株は「個人その他」、証券保管振替機構名義株式8,500株は「その他の国内法人」に含まれています。

^{*}記載比率は、小数点第2位未満を四捨五入して表示しています。

株価の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会開催時期	6月中
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会および期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告します。
公告方法	当社の公告は電子公告とし、インターネットホームページに掲載します。 http://www.rolanddg.co.jp/ir/index.html ※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-7111(通話料無料) [受付時間9:00~17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)] ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
株主優待	毎年3月31日現在の1単元(100株)以上所有の株主様に、年1回当社が選んだ世界各国の名産品(3,000円相当)を掲載したオリジナルカタログの中から一品を選択していただくものです。(2012年6月実績)
本誌に関する お問い合わせ先	広報・IR課 TEL 053-484-1400
株式・株主優待に 関するお問い合わせ先	法務部 TEL 053-484-1236

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IRサイトのご案内

当社では株主や投資家の皆様へ当社のことをより深く理解していただくとともに、最新情報をタイムリーに提供することを目的に、ホームページを活用したIR活動にも注力しています。ぜひ、当社ホームページ「IR情報」をご覧ください。



● 最新IRイベント

直近の決算発表日から個人投資家向けのIRフェアの出展など、IRに関する最新情報をお知らせしています。

● IRメール配信

メールアドレスをご登録いただいた方には、ニュースレターや決算情報などの最新情報をメールにてお知らせしています。

● はやわかりローランド ディー・ジー

「事業内容」や「業績」などの基本情報のほか、「当社の強み」や「当社製品の活用事例」などをわかりやすく紹介しています。

今後も皆様のご意見を反映させながら、IR活動の充実を図ってまいります。

<http://www.rolanddg.co.jp/>

ローランド ディー・ジー

検索

 **Roland**[®]
<http://www.rolanddg.co.jp/>


UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

 ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC[®] C022915


VEGETABLE
OIL INK